

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針 テーマ 「防災」

## 〔開催概要〕

日時: 令和元年12月18日(火)18:00～19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

※ 令和元年度 第6回目

令和2年1月

鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	桜島ジオサルク	① 大正大噴火の場合、噴火活動による災害の1年後に多量の降灰による土砂災害(ラハール)が起こっており、火山災害の犠牲者よりも多いと言われ、火山災害の複合災害に位置付けられている。しかし、現在の桜島火山ハザードマップには、降灰による土砂災害(ラハール)について記載がないので、今後、火山防災トップシティを目指すにあたり、ラハールについてのハザードマップも準備して頂きたい。	① 貴重なご意見を頂きまして感謝申し上げます。また、日頃から桜島錦江湾ジオパークに係る取り組みや、火山防災教育の推進にもご協力頂き、心から感謝申し上げます。 現在のハザードマップは、平成22年に作成したもので、その内容は、砂防学の学識経験者や県、鹿児島市、垂水市などの防災担当者などの検討の場において、発生しうる火山災害要因とその影響が及ぶ範囲などを検討した結果として策定されております。複合災害、土砂災害について検証が行えるかは不明であります。現在のものは過去の火砕流、溶岩流や土石流について示しております。しかし、その他の火山災害についても、しっかりと組み込むべきだと思っておりますので、今後、専門家の方々や県などの関係機関との協議の中でしっかりと検討し、ハザードマップに反映していきたいと思っております。ご提案をしっかりと受け止めていきたいと思っております。	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり
2	特定非営利活動法人あんじゅりあん	② 鹿児島市のマニュアルには、ペットの同行避難が掲載されているが、同室避難をお願いしたい。同行避難であると、ペットは体育館の外側に繋がれたままで、東北では津波の被害に遭い、溺死するという悲しい事も起きている。本市では同室避難の考えで避難所を設置して頂けないか。	② ペットに対する対応は、本市では災害時動物救護マニュアルを整備しております。同室ではなく、同行避難ということで、避難所に収容できないペットの受け入れについても協力体制を整備し、災害時に協力を得られるボランティアも確保しております。国でも同室避難は明記はされていないということでもあります。これまでの経験の中で、ペットが外に飼育された結果、悲しい事故も起きておりますが、現時点では、ペット飼育管理は、敷地内にペットスペースを設けてケージやキャリアケースに入れて飼育することなどをマニュアルに掲載しておりますので、慌てることなく、スムーズにペットと同行避難ができるように災害時の啓発を行っていかねばならないと思っております。 これからの災害時にこういった形でペットの安心安全を確保できるかは、1つの課題であろうと思っておりますが、同室とした場合には、他の避難者への対応もありますので、やはり研究課題であると思っております。国(環境省)も検討していると思うので、注視して参りたいと思っております。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	特定非営利活動法人鹿児島砂防ボランティア協会	<p>③ 平成5年の8・6災害以降、土砂災害などが頻繁に起こるようになった。土砂災害警戒情報や特別警報があり、今年からはレベル化もされているが、まだまだ避難率が低い状況である。実効性のある避難行動への誘導の取り組みをお願いしたい。</p> <p>また今年、全員避難指示が発令されたが、戸惑った方も多かった。高齢者・避難行動要支援者・自力避難困難者・日本語を常用として使用されない方々などに対して、きめ細かな施策が必要だと思う。</p>	<p>③ 常日頃から住民に対する色々な啓発活動等に取り組んでおられることに心から感謝申し上げます。</p> <p>貴重なご意見を頂きました。今年の6月末から7月初めにかけて、平成5年の8・6水害を上回る雨量を観測しまして、私自身が市内全域に避難指示を出しました。今年国が決めましたレベルで、レベル4という状況になりましたので、避難勧告と避難指示がありますが、全国で初めて避難指示を出しました。そうした中で、住民の方々にとりましては、少し混乱がありました。避難所には、3,500名ほどの方が避難されました。報道機関から情報を提供し、課題等も投げかけられたところでございます。平成30年7月の豪雨では、避難勧告で、63名の方が避難されたとのことなので、避難に関する意識が変わってきたのではないかと思います。</p> <p>避難行動をどういった形でとるか、自分の命は自分で守るということで、常日頃からしっかりと頑張って頂かないといけないということでもあります。そういった意味では、今回の豪雨を受けて、いろいろな課題が提供されましたので、本市としては、防災リーフレットの発行、報道機関によるコマーシャル、市政出前トークなど、あらゆる機会を通じて、周知広報に努めてきたところですが、引き続き市民の皆様方に正しい情報を発令して、避難の取り組みを進めていかなければならないと思っています。</p> <p>また、避難行動要支援者に対しては、個別支援計画の作成、平常時の情報提供への同意への理解を促すこと、また、共助による支援体制が確立されるよう取り組んでいきたいと思っています。また、外国人の方々に対しましても、避難所看板の4か国語表記などを行っております。</p> <p>今後とも関係の方々との連携を図りながら、取り組みを進めていきたいと思いますが、国でも災害からの避難に関する取り組みの改正等も進められていますので、注視しながら市としても取り組みを進めていきたいと思っています。これからもご支援頂ければ大変ありがたいと思います。</p>	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	④ 桜島では、観光・防災全てが繋がっている。退避壕、避難壕、退避舎など防災施設がたくさんあるが、観光客からは遠い存在になっている。一方で、いざという時には観光客もそこに逃げないといけないが、すぐに行動できるか不安がある。防災施設を普段から観光利用するなど、いざという時だけではなく、平時から活用していけると良い。	④ 貴重なご意見ありがとうございます。また、常日頃から桜島錦江湾ジオパーク、火山教育、防災、観光、桜島地域の活性化にご協力頂いておりますことに感謝申し上げます。 桜島は我々の宝でもあり、一方では災害が発生する危険地帯でもありますので、防災施設をしっかりと整備していかなければならないと思っております。退避壕などの防災施設については、単にそこに作ったから良いという訳ではなく、他の分野で活用することも大切ではないかと思えます。一部の施設では、そういった活用をしております。例えば、桜島の退避壕でバス停として活用されている例もありますし、黒神ビュースポットについては、展望所にジオパークの説明板を設置して活用しており、また、桜島コンシェルジュセンターにハザードマップを掲示したりしております。 様々な施設を1つの拠点施設という捉え方ではなくて、あらゆる観点から有効利用できるように取り組みを進めていければと思います。そのことで、桜島の活性化にも、また、桜島を周遊する方々への案内にもなるかと思えます。今のご意見はしっかりと受け止めて検討したいと思えます。	危機管理局 観光交流局	【危機管理局】 市長回答のとおり  【観光交流局】 黒神ビュースポットについては今後も継続して活用するとともに、防災情報については、桜島コンシェルジュセンターへの掲示や、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会のSNS等を通じて情報発信に努めていきます。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	犬迫地域コミュニティ協議会	⑤ 犬迫町は緊急時の避難場所として健康の森公園に避難するようにとのことですが、遠くの横井町内会や萩別府町内会は車で移動しても時間がかかる。犬迫町にある町内会の公民館を使用できる所、できない所の選定をお願いしたい。また、どこかの避難所に行けば良いのか明確に指定をお願いしたい。また、備蓄品があるのかないのかも知らせたい。	⑤ 犬迫町の横井町内会、萩別府町内会からの避難場所として、健康の森公園と石谷小学校を指定しておりますが、その他の避難場所についても、市のホームページや今年6月に市内全戸に配布したわが家の安心安全ミニガイドにも掲載し、お知らせをしております。 6月末から7月初めにかけての大雨でも、どこかの避難所に行って良いかかわらないとの声も頂いております。市としてもミニガイドでお知らせしておりますが、なかなか見て頂けていないのが1つの要因ではないかと思っておりますので、行政としてしっかりと情報発信に取り組んでいかないといけないと思います。また、地域の方々にどの地域はどの避難所に避難してくださいとお知らせすることも重要ではないかと思っております。避難所を開設する場合も、洪水浸水想定区域外、土砂災害警戒区域外に立地し、安全性等が一定の基準を満たす施設としておりますので、犬迫町の公民館が該当するかは総合的に判断していきたいと思っております。	危機管理局	【危機管理局】 地域ごとに指定緊急避難場所(兼指定避難所)のすみ分けができるよう、必要に応じて、周辺町内会等に対し、適した指定緊急避難場所(兼指定避難所)を周知するためのチラシを作成し、配布します。
		⑥ 先の避難勧告で、ペット(犬、猫)を連れておられ、車の中におられた方もいた。避難所へのペットの持ち込みが可能か不可かを示してほしい。	⑥ ペットについては、今は同行避難したペットの受け入れは行ってありますけれども、今は同室ではなくて同行ということでありまして。ペットの持ち込みについては、ケージに入れて、避難所の敷地内のできるだけ屋根の付いたスペースにおいて、動物の飼育管理は飼い主の責任であります。避難所の所定の場所において適切に行って頂く必要があると思っております。やはり同室での避難が最適とは思いますが、他に避難されている方々との関係など色々な課題がありますので、そういった課題等も見据えながら検討していくべきだと思います。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり
		⑦ 河頭校区(小山田町、皆与志町、犬迫町)には地域福祉館がないので、早急の設置をお願いしたい。	⑦ 概ね1中学校区に1館という方針に基づいて、市内41館を整備しております。河頭校区周辺では、花野福祉館が対象となっております。人口集積等を考えながら、拠点とする場所を特定して整備しておりますので、今のところ花野福祉館を活用して頂ければと思います。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり
		⑧ 犬迫町は市街化調整区域で農業振興地域です。耕作放棄地が多く、5年後には全体の80%くらいが放棄地になる恐れがある。放棄地になると集中豪雨災害が起こりやすくなるので、農業振興地域の見直しをお願いしたい。	⑧ 農業振興地域は総合的に農業の振興を図るべき地域として、法律によって指定をされております。耕作放棄地の対策については、農地の有効利用を図るために、遊休農地バンクによる借り手への情報提供、農地の復元経費や流動化に対する助成を実施しておりますが、担い手等への農地の集積・集約化なども進めておりますので、できるだけ耕作放棄地が増加しないように様々な事業を推進をしていかなければならないと思います。引き続き農業委員会と連携しながら対応していきたいと思っております。なお、農業振興地域は県が指定することとなりますので、ご意見を県にもお伝えしておきたいと思っております。	産業局	【産業局】 市長回答のとおり 農業振興地域の指定にあたっては、市街化調整区域については積極的に指定することと国のガイドラインで定められているため、建設局とも協議の上、県に相談していきたいと考えております。 また、農業委員会においては、遊休農地の発生防止・解消のため、農地パトロールや利用状況調査、鹿児島の農地「貸したい」「借りたい」総点検活動による利用意向調査を行い、担い手への農地の集積・集約化などの取組みを進めております。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	特定非営利活動法人鹿児島砂防ボランティア協会	<p>⑨ 避難する場所がどこか、また避難する経路はどこか把握しておくことが重要である。また、高齢者など利用者の多様なニーズへのきめ細やかな対応などが課題である。ペットの問題は、一方でアレルギーの方もいるので、市として何らかのコンセンサスを得て、市民の方々にも納得をして頂くような形にして頂きたい。このような中、自主防災組織や、実行性のある防災教育の充実を図り、防災への意識の向上を図って頂きたい。</p>	<p>⑨ 貴重なご意見を頂きました。災害弱者に対する対応、避難所の新設や整備、避難経路、ペットの関係などについては、他の地域や自治体でも課題を抽出し、その解決に向けて検討をしております。私自身も全国市長会の災害部会にも所属しておりますし、九州市長会の会長もしておりますが、その中でも様々な課題が抽出されておりまして、これは1自治体で解決できる問題ではありませんので、情報を共有しながら課題解決に向けた取り組みをしていかなければなりません。</p> <p>本市においても、今回避難指示を出したことによる課題が様々出て参りましたので、それらを検証しながら、避難情報発令の地域・対象者の見直しやそれぞれの地域で災害が発生した場合の避難所はどこに行けば良いのか、避難経路はどうすれば良いのか、また今回、避難所が逆に危険であったケースもありましたので、避難所の設置の在り方についても検討をしていかなければならないと思っています。</p> <p>ペットの問題も様々な課題がありますし、ペットを連れておられる方は一緒に避難したいという思いが大変強いと思っています。事例も全国でたくさんあり、全国規模で共有する大きな課題ですので、全国市長会でも提案し、発言したいと思っております。</p>	<p>危機管理局 健康福祉局</p>	<p><b>【危機管理局】【健康福祉局】</b> 市長回答のとおり</p>

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	犬迫地域コミュニティ協議会	⑩ 農地の法面が、災害で崩れた際に、国の災害復旧事業の対象とならない40万円以下の災害への対応として、市(農地整備課)で予算枠を設けてほしい。	⑩ 農地の災害復旧は、国の災害復旧事業として1か所の工事費用が40万円以上のものが対象となっています。災害に遭った農地を原形に復旧する事業となっています。これは、全て国が出すわけではなく、市も一部負担をしております。しかし規定があり、災害が起こった場合には今後の農業の取り組みに支障があるかと思っておりますので、市の職員が現地確認をし、色々と相談に乗ることを考えております。40万以上か以下であるかの金額ではなくて、こういった形で復旧作業すれば良いか是非相談頂ければと思います。	産業局	【産業局】 市長回答のとおり
		⑪ 犬迫町、皆与志町、小山田町には市営住宅を建てて頂き、ありがたいことだが、空き家がある。地域活性化対策事業の一環であるので、条件緩和をして頂き入居の働きかけをお願いしたい。また、市営住宅が空いているのであれば、鹿児島市の地域おこし協力隊員を入れて頂き、地域の活性化をお願いしたい。	⑪ 犬迫町の市営住宅の空き家等については、随時室内の準備が整い次第、ホームページや市民のひろば等で広報して募集しており、引き続き募集をかけていきますが、条件緩和については、法令で定められていますので、鹿児島市独自で緩和することはなかなかできないということをご理解頂きたいと思っております。 また、地域おこし協力隊については、現在鹿児島市には1人喜入に定住しておられ、3年間ということ色々な事業に取り組んで頂いております。地域おこし協力隊は国の政策でありまして、何人でも増員するということは難しいと思っておりますが、地域のニーズや、新しい人材を注入することで活性化に大きな効果があるようであれば、制度を活用して対応できればと思います。地域ニーズとのマッチング、住んでいる方々との関係性づくりなど色々と検証したうえで対応していかなければいけませんので、ご理解頂ければと思います。	建設局 企画財政局 観光交流局	【建設局】【企画財政局】【観光交流局】 市長回答のとおり
8	桜島ジオサルク	⑫ 桜島では、桜島火山爆発対策総合防災訓練が毎年あるなど、桜島の住民は防災意識が高く、極めて迅速な避難訓練ができていますが、市街地側住民はどうしても緊迫感が薄く、避難訓練を使ったツアーに参加する方も少ない。来月(1月)の訓練は第50回と聞いているので、是非アピールして頂いて、火山防災に対する意識を見直すきっかけにして頂きたい。	⑫ 市街地側の住民の方々は、火山防災意識が少し希薄ではないかと思っております。やはり市街地側の方には発生頻度が低いという考え方もあるのかと思っておりますが、桜島で大噴火が起こった時にどのような行動をすれば良いのかイメージができていないのではと思います。 鹿児島市においては、平成30年度に主に市街地側の住民の火山防災対策として、大量軽石火山灰対策計画を策定し、あわせて火山防災の意識啓発映像を作成し、ホームページやYoutubeにも掲載しました。大変衝撃的な内容となっておりますが、実際に市街地でもこういう事象が発生しますということをあからさまに映像として発信しております。常日頃から桜島の住民の方々と同様に火山防災意識を持って対応して頂くための映像での情報発信しておりますので、映像をご覧頂き、大正級の大噴火が起こりうることイメージして頂くことからしっかりと始めていければと思います。また、来年1月の防災訓練でもしっかりとお伝えしていければと思います。	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年12月18日(水)18:00~19:05

場所: かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	特定非営利活動法人あんじゅりあん	⑬ ペットアレルギーの方もいる。ペットと人間の避難を真剣に考え、ペットを飼っている方だけを収容できる避難所を設置している市もある。小学校跡地などを他の市では考えているようである。そうすることで、トラブルのない避難所ができるのではないかと。また、ペットの避難所がないことで、避難をしなかったり、車の中で避難してエコノミー症候群になったりなどの人的被害もある。	⑬ やはりまずは、避難所をしっかりと確保することが大切だと思いますし、どのくらいの方がペットを飼っておられるかも、なかなか把握できていませんので、1つのご意見として伺っておきます。まずは避難所をしっかりと確立し、経路を示すことで災害が起こった時の対応として取り組んでいければと思います。 やはり、ペットに対するアレルギーもありますし、同室に関する様々な問題も出ていますので、災害に対する対応の大きな課題であろうと思います。これまで色々な災害があり、東日本大震災や熊本地震でも人間だけが避難してペットがそのまま野放しになり、野犬になったりするなどの大きな問題が現状としてあります。これは多くの自治体が抱えている全国共通の課題であろうと思いますので、全国市長会で、意見として協議の中で述べさせて頂きたいと思います。	健康福祉局 危機管理局	【健康福祉局】【危機管理局】 市長回答のとおり
10	特定非営利活動法人桜島ミュージアム	⑭ 桜島は外国語の表記が少なく困ることがある。既存のバス停に英語表記ができないか。そうすることで、どこにいるか把握できるので、安心感につながる。	⑭ 四か国語表記については、桜島港のバスターミナルなどでは行っていますが、それぞれのバス停には表記はしておりませんので、今のご意見をどういった形でできるか検討してみたいと思います。	交通局	【交通局】 今後、関係部署(バス協会など)と連携をとりながら、バス停名に英語・ローマ字表記などを記載する方向で検討してまいります。
11	犬迫地域コミュニティ協議会	⑮ どうにかして犬迫地域を活性化していきたい。これまでも要望してきたが、農業振興地域、市街化調整区域の見直しの話が市長まで届いているのか。犬迫地域は、山間部であり、田んぼも小さく、耕作放棄地も増えている。なぜ農業振興地域の見直しをして頂けないのか。	⑮ 犬迫地域コミュニティ協議会からの要請は、私自身も内容を把握しております。 農業振興地域は、総合的に農業の振興が図るべき地域として法律に基づいて指定されております。農業振興地域の整備に関する法律により県が指定しており、私共も県の取り組み状況などをお聞きしながら対応しているところでございます。市全域での活性化が、まちの発展につながっていくと思いますので、農業だけではなく、住宅にしてもそうですし、あらゆる分野において周辺の地域が活性化するように様々な取り組みを進めていかなければならないと思います。 県との関係もありますので、こういった状況があるということを県へ伝えますし、課題解決に向けて検討をしていかなければならないと思います。今後どういった形で犬迫地域周辺の活性化へ向けて課題解決が図られるか推移を見守って頂ければと思います。	産業局	【産業局】 市長回答のとおり 農業振興地域の指定にあたっては、市街化調整区域については積極的に指定することと国のガイドラインで定められているため、建設局とも協議の上、県に相談していきたいと考えております。